

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

# 添付文書改訂のお知らせ

2022年9月  
東海製薬株式会社

制酸剤 緩下剤  
日本薬局方 **酸化マグネシウム**  
(重質酸化マグネシウム「東海」)

この度、標記製品につきまして、添付文書を改定しますのでお知らせいたします。  
なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまで若干の日時を要しますので、今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

## — 記 —

改訂箇所抜粋 (取消し線部削除、下線部追記)

改 定 前			改 定 後		
<b>【使用上の注意】</b> <b>3. 相互作用</b> <b>併用注意 (併用に注意すること)</b> 本剤は吸着作用、制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。			<b>【使用上の注意】</b> <b>3. 相互作用</b> <b>併用注意 (併用に注意すること)</b> 本剤は吸着作用、制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 <略>、 ニューキノロン系抗菌剤 <略>、 ビスホスホン酸塩系骨代謝改善剤 <略>	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	マグネシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。	テトラサイクリン系抗生物質 <略>、 ニューキノロン系抗菌剤 <略>、 ビスホスホン酸塩系骨代謝改善剤 <略>、 <u>抗ウイルス剤</u> (ラルテグラビル、エルビテグラビル・コビシタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩等)	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	マグネシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。
セフジニル、 セフポドキシム プロキセチル、 ミコフェノール酸モフェチル、 <del>デラビルジン、</del> <del>ザルシタビン、</del> ペニシラミン		機序不明	セフジニル、 セフポドキシム プロキセチル、 ミコフェノール酸モフェチル、 ペニシラミン		機序不明

高カリウム血症 改善イオン交換 樹脂製剤 <略>	<略>	<略>	高カリウム血症 改善イオン交換 樹脂製剤 <略>	<略>	<略>
活性型ビタミン D <sub>3</sub> 製剤 ・アルファカル シドール ・カルシトリオ ール	高マグネシウム血 症を起こすおそれ がある。	マグネシウムの 消化管吸収及び 腎尿細管からの 再吸収が促進す るためと考えら れる。	活性型ビタミン D <sub>3</sub> 製剤 (アルファカル シドール、カル シトリオール 等)	高マグネシウム血 症を起こすおそれ がある。	マグネシウムの 消化管吸収及び 腎尿細管からの 再吸収が促進す るためと考えら れる。
大量の牛乳、カル シウム製剤	milk-alkali syndrome (高カルシウム血 症、高窒素血症、ア ルカローシス等) があらわれるおそ れがあるので、観 察を十分に行い、 このような症状が あらわれた場合に は投与を中止す ること。	機序：代謝性ア ルカローシスが 持続すること により、尿細 管でのカルシ ウム再吸収が 増加する。 危険因子：高カ ルシウム血症、 代謝性アルカ ローシス、腎機 能障害のある 患者	大量の牛乳、カル シウム製剤	milk-alkali syndrome (高カルシウム血 症、高窒素血症、ア ルカローシス等) があらわれるおそ れがあるので、観 察を十分に行い、 このような症状が あらわれた場合に は投与を中止す ること。	機序：代謝性ア ルカローシス が持続するこ とにより、尿細 管でのカルシ ウム再吸収が 増加する。 危険因子：高カ ルシウム血症、 代謝性アルカ ローシス、腎機 能障害のある 患者
ミソプロストー ール	<略>	<略>	リオシグアト	本剤との併用によ りリオシグアトの 血中濃度が低下す るおそれがある。 本剤はリオシグア ト投与後 1 時間以 上経過してから服 用させること。	消化管内 pH の 上昇によりリ オシグアトの バイオアベイ ラビリティが 低下する。
~			ロキサデュスタ ット、 バダデュスタッ ト	これらの薬剤と併 用した場合、これ らの薬剤の作用が 減弱するおそれ がある。	機序不明
			炭酸リチウム	高マグネシウム血 症を起こすおそれ がある。	
			H <sub>2</sub> 受容体拮抗薬 (ファモチジン、 ラニチジン、ラ フチジン等)、 プロトンポンプ インヒビター (オメプラゾ ール、ランソプラ ゾール、エソメ プラゾール等)	本剤の緩下作用が 減弱するおそれ がある。	胃内の pH 上昇 により本剤の 溶解度が低下 するためと考 えられる。
			ミソプロストー ール	<略>	<略>

製造販売元

東海製薬株式会社

愛知県名古屋市中川区江松一丁目 105 番地